



繪本東土産

13
1464
5



文

門へ達 13
1464
巻 5

やくたぶい

清長画
鬼のこゝろ 上中下



自序

厄拂の日ヤアラ且那の古厄とやらはなほ
お年々鬼なるまはれひまきゆきまら
作者の筋名ハ酒落のうら酒太初そ酒茶の
茶なる可きと皆様みくらよ清修刊
厄払の傳釋ハ州紙の古本をよき
修治の目録ハ

は度々
持









とこのん
 ねい西月の
 二日あるや
 四月二日のま
 よめまあるま
 ぬらまがえついで
 又二ついでぬら
 ましとん
 りかあり

まづは
 りやちめ
 まや
 ぶらんで
 びざり
 ます

まめてこ
 ひここ
 とくたん
 子めて



あつて
 さんびきり
 ままさん
 れいと
 する

つれづれ
 ねらう
 せんあ
 ぶす
 かめ
 こび
 とあ
 むら
 く
 め
 ん

この
 よ
 め
 と
 ら
 ぬ



おめい
 おへんといふ
 おとんこてい
 ちとあやまる
 どのうぢえん
 れままの
 くれとけ
 くのりてや
 ところとせよ
 つろていあめ
 とまよの
 やく人
 たいめ
 こまよにわめ
 じんちのめ



どのうぢえん
 れままの
 くれとけ
 くのりてや
 ところとせよ
 つろていあめ
 とまよの
 やく人
 たいめ
 こまよにわめ
 じんちのめ
 おめい
 おへんといふ
 おとんこてい
 ちとあやまる
 どのうぢえん
 れままの
 くれとけ
 くのりてや
 ところとせよ
 つろていあめ
 とまよの
 やく人
 たいめ
 こまよにわめ
 じんちのめ



七代目
 龜井
 八代目
 九代目
 十代目
 十一代目
 十二代目
 十三代目
 十四代目
 十五代目
 十六代目
 十七代目
 十八代目
 十九代目
 二十代目
 二十一代目
 二十二代目
 二十三代目
 二十四代目
 二十五代目
 二十六代目
 二十七代目
 二十八代目
 二十九代目
 三十代目
 三十一代目
 三十二代目
 三十三代目
 三十四代目
 三十五代目
 三十六代目
 三十七代目
 三十八代目
 三十九代目
 四十代目
 四十一代目
 四十二代目
 四十三代目
 四十四代目
 四十五代目
 四十六代目
 四十七代目
 四十八代目
 四十九代目
 五十代目
 五十一代目
 五十二代目
 五十三代目
 五十四代目
 五十五代目
 五十六代目
 五十七代目
 五十八代目
 五十九代目
 六十代目
 六十一代目
 六十二代目
 六十三代目
 六十四代目
 六十五代目
 六十六代目
 六十七代目
 六十八代目
 六十九代目
 七十代目
 七十一代目
 七十二代目
 七十三代目
 七十四代目
 七十五代目
 七十六代目
 七十七代目
 七十八代目
 七十九代目
 八十代目
 八十一代目
 八十二代目
 八十三代目
 八十四代目
 八十五代目
 八十六代目
 八十七代目
 八十八代目
 八十九代目
 九十代目
 九十一代目
 九十二代目
 九十三代目
 九十四代目
 九十五代目
 九十六代目
 九十七代目
 九十八代目
 九十九代目
 百代目

